



Quarterly
[出羽庄内国際交流
財団会報]
季刊誌

日米草の根交流サミット / 鶴岡銀座通りで
ハロウィンパレードの子供たち

Vol.15

出羽庄内国際村

「 DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM 」

- 特集「第7回日米草の根交流サミット」 ②
- アマゾン民族館紹介ほか ④
- レポート出羽庄内国際村 ⑥~⑦
- インフォメーション ⑦
- 97出羽庄内国際村の1年 ⑧

ボランティアの力 結集

第7回 日米草の根交流サミット



全体会には約800名が出席

平成9年10月31日から11月3日までの4日間にわたり、「第7回日米草の根交流サミット山形大会」が開催されました。今回は、日本では過去最大の約450名ものアメリカ人が参加し、鶴岡市では出羽庄内国際村を拠点に、二つの分科会のほかに、全体会、歓迎レセプション、フェアウェルパーティーをはじめとする各種大会全体行事も行われ、「サミット主会場」として大きな役割を果たしました。

本大会は、鶴岡市過去最大の「国際交流事業」となりましたが、ホストファミリー、通訳ガイドボランティアをはじめとする多くのボランティアの皆さんの活躍は大会成功の大きな原動力となりました。

いつまでも、いつまでも別れを惜しむ子供たちの姿が、交流の深さを物語っていました。

いつの日か、どこかで、またお会いしましょう。

▶ 庄内の食文化 豆料理の達人



交流深めた
分科会



◀ 姉妹都市交流 高校生トーク



◀ 10 / 31 庄内空港歓迎



10 / 30 高校生トーク看板作成

▶ 10 / 6・9・15 通訳ガイド ボランティアセミナー



◀ 10 / 27 ホームステイ説明会

大会成功を支えた
人 人 人

▶開会行事のあとは
こんな楽しいパーティに



鶴岡市文化会館での合同合唱

出会い 交流
感動そして思い出
友好の輪 大きく広がった4日間

▶ホームステイ先にて
姉妹以上に仲良しになりました



国際村交流広場でのプラスバンド合同練習

また、いつの日か、
どこかでゼッタイ会おうね



▶秋晴れの一日、
楽しいパレード風景



第7回大会を振りかえって

（勤）ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター 専務理事 高橋 徹氏
山形県、鶴岡市、庄内コンベンションビューローはじめ地元の各団体・個人の手厚いご尽力のもとに、これまで最多の日米市民約3,600名が山形県で華やかに、意義深い交流が出来ましたこと、私どもの望外の喜びでありました。心より御礼申し上げます。

日米両国のこれまでの開催地が、次の、そして又その次の処へと友好の輪を拡げてまいっております。皆様もこの仲間に入って、一緒に将来の飛躍に向かって努力して下さいますこと、切に希望いたしております。

11/3 百万石まつりパレード準備



11/2 着物着付け体験



◀11/2 日本文化体験

▶11/2 リョクチャサービス



ニューギニア民族展開催を前にして —3月7日(土)開幕—

アマゾン民族館館長 山口 吉彦



ダニ族の村の入口にて

ニューギニアは西太平洋の赤道近くに位置する、グリーンランドに次ぐ世界第二の広さを持つ大きな島である。面積は七十七万平方キロメートルで日本の約二倍、人口は約三百万人で、多くの少数民族に分かれ、千以上の言葉が話されていると言われる。島は、特異な形をしていてしばしば巨大な島、又は太古の恐竜に例えられている。ニューギニア島の東半分は、パプア・ニューギニア共和国、西半分はインドネシア共和国のイリアンジャヤ州に属している。



館長とダニ族の人たち

ニューギニア島民の一般的な生業は、サツマイモ、タロイモ、ヤムイモなどの根菜類の栽培で、豚の飼育は、ニューギニアのほぼ全域で行なわれている。高温多湿の低地では、サゴヤシからとるでんぷんの精製や狩猟、採集活動も重要な生業活動となっている。

山形県とイリアンジャヤ州は、一九九四年、姉妹州県の盟約を結び、交流を図ってきた。アマゾン民族館で三月から開催する「ニューギニア民族展」を通して、イリアンジャヤならびにパプア・ニューギニアの伝統文化と生活を紹介し、来館者の皆さんに地球上に残された数少ない秘境に夢を馳せて頂ければと思っている。

草の根サミットで来館した皆さんが、民族館にメッセージを残してくれました

鶴岡市を主会場に開催された「日米草の根交流サミット山形大会」で出羽庄内国際村は大会のセンターとしての役割を果たしました。

この期間中、大会に参加した沢山の米国人の方がアマゾン民族館を見学、民族館の出口に設けてある「感想ノート」に、多くのメッセージを寄せてくれました。ここで、その一部をご紹介します(訳/財団事務局)。



草の根サミットメッセージ

- 素晴らしい展示でした。よくまとめられていて、沢山の情報を与えてくれました。
- すごく楽しく拝見し、展示品を観ることで違う文化を体験することができました。そしてどのようにして自然と共に生きてゆけるかを学びました。
- なんと素敵な展示品でしょう。この民族館は生命と活気に満ちた色に溢れています。私たちが歓迎してくれてありがとうございます。

- 素晴らしい民族館でした。見たことのない物が沢山ありました。私の子どもはアマゾンに住む人々について沢山のことを学びました。私たちに観せてくれてありがとうございます。
- こんにちは。サンバのビデオが良かったです。それからアマゾンシアターの小さい人も面白かったです。
- 民族館、大変楽しめました。楽団に入っているので楽器を演奏できるのが楽しかったです。

タンゴの王様 ドナート・ラシアッティ En 鶴岡



十一月六日、国際村ホールにおいて、アルゼンチンタンゴのコンサートが開催されました。

これは現在開催中のアマゾン民族館の特別企画展示「中南米楽器展」の関連イベントとして当財団が主催して行ったものです。

公演したラシアッティ氏は一九二〇年、中南米のウルグアイに生まれタンゴ独特のボタン式アコーディオンのバンドネオンの奏者として、また、作曲家、指揮者として、半世紀以上にわたりタンゴ界のトップに君臨し

全世界で精力的にコンサート活動を展開しています。

今回は、氏のほかにピアニスト、歌手など四人を伴っての来日。この日は、演奏の合間に同行のタンゴ哲学研究評論家のタンキート木田氏、前エルサルバドル特命全権大使の石原重孝氏のタンゴや中南米事情についてのコメントも加わりました。

会場の約二百八十人の聴衆は「ラ・クンパルシータ」はじめ情熱と哀愁漂う超一流のタンゴ演奏に魅了されていました。

ブラジル声楽家 アミン・フェリス バスリサイタル

十二月二日ブラジルの声楽家アミン・フェリス氏のリサイタルが国際村ホールで行なわれました。

現在フェリス氏はブラジルの大学で後進の指導にあたる傍ら、ご自身でも演奏活動を行い世界的に活躍されています。

今回は、以前から親交のあった余自在住の元音楽教師、門脇博子さんの招きで来鶴。前からの希望であった国際村でのバスリサイタルを実現させました。当日はこの冬初めての雪模様

となり、二十五分遅らせての開演となっていました。演奏の途中にもぞくぞくと観客の皆さんが詰め掛け、途中からはほとんど席が一杯になる程盛況な演奏会となりました。

曲目は、シューベルトの歌曲などのほか、ブラジルの作曲家の歌や、南米インディオの歌など普段聴くことのない珍しい曲も演奏されました。また門脇さんとフェリス氏の共演も披露され、大変暖かい雰囲気での演奏会となりました。



国際交流 6 ねこまねき

インターナショナルワイド

『ねこまねき』とは、決して「招き猫」の間違いでなく、「人や物をおいでおいでする」という深い意味のある造語です。国境や様々な「ちがひ」を乗り越えて、国際的な理解を深めるため、地域の一生活者としての視点から、

そうですが、「ゴミを出さない工夫をする…例えば使い捨て容器は使用しないなど…」ということ、福祉といっても、「みんなの違いを受け入れる」こと、これらのことを活動の中で欠かせない視点としています。

①「こども」を主人公にした国際交流イベントの企画・運営、または協力、②国際理解を深める一助にするべく、翻訳付き大型紙芝居等の企画・製作・上演・貸し出し、③国際的視野に立った環境問題・福祉等の学習・実践の三つを大きな柱としています。

子供たちが真のコスモポリタンとして育つためには、たくさんの方の社会的経験が必要だと思います。現代の子供たちには、あふれるほど物があり、行事も多く、用事も多いので継続する活動は難しいものがありますが、毎年企画を通じて、何かを感じとってくれる「常連さん」が増えるのを期待しながら、細々と続けていこう、と思っています。

一九九五年の発足以来、様々な紆余曲折の末、定期的な活動をもたず、具体的には例年、ワールドバザールへの出店、ハロウィンの企画・運営・協力などを中心にやっています。現在、「構想三年」の人形劇を模索中で、基本の物が出来上がったなら、是非ともたくさん外国語でパージョンを加えていきたいものだとひそかに考えています。また、環境問題といえれば難し





レポート

1997.10
～
1998.1

出羽庄内国際村

恒例

出羽庄内国際村祭

庄内在住の外国人との交流を通して異文化を実際に体験し、理解を深めていただくよう開催している出羽庄内国際村祭。今年度も様々なイベントが催されています。



Oct. ハロウィン

国際村祭の始まりは、おばけカボチャで作る提灯「ジャック・オ・ランタン」作り講習会。今年十月二十七日、二十八日に国際村で、また二十九日、三十一日まで鶴岡銀座センターを会場に開催されました。庄内一円から善意で集められたカボチャは、思い思いの個性的な提灯に仕上げられ、夜空に温かな光

を放っていました。

また、三十一日には、日米草の根サミット歓迎行事の一環として、鶴岡銀座通り商店街の協力のもとに、ユニークに仮装した日米の子供たちがキャンディをおねだりしながら元気に商店街を回っていました。

Nov. サンクスギビング

一年の収穫を神に感謝する米国のお祭「サンクスギビング」をテーマに十一月二十三日、七面鳥料理講習会とサンクスギビングパーティーが行われました。米国人も参加して行われた料理講習会は、にぎやかに楽しく進められ、生のハーブがよくきいた、黄金色に焼き上がった七面鳥料理に参加者一同大満足。



夕方に行われたパーティーに

Dec. クリスマス

は、庄内在住の大勢の外国人も駆けつけ、参加者は七面鳥料理や持ち寄った料理を囲み懇談、また歌やゲームを楽しみながら深まりゆく秋を感じていました。



街中、赤と緑で彩られるクリスマス。国際村でも十二月七日から週末に様々な催しを実施。幕開けは、ドイツ風ツリーの

前でのサンタさんとの撮影会。約百五十人の子供たちにサンタ

さんは引つ張りだこでした。ドイツ風ケーキづくり講習会

では、「手軽につくれて、しかも美味しい」と受講生は大満足

でした。また、リースづくり講習会では、二時間ほどで見事な

リースが完成しました。二十一日のワールトフアミリ

ークリスマスパティーは、多くのボランティアの皆さんの協

力をいただき実施しました。斎小学校児童の皆さんの優しいハ

ンドベルの音色に始まり、外国人の方とゲームなどを通し交流

を深めるなど楽しいクリスマスパーティーとなりました。

海外姉妹都市・友好都市 交流深まる一ヶ月

十一月四日から八日まで、鶴岡市の姉妹都市・米国ニューヨーク市の姉妹都市・米田市と姉妹都市のハンガリー・デブレツェン市の両訪問団一行五名を迎え、「健康な子供、健康な家庭」をテーマに三ヶ国交流プログラムが開催されました。

各々医師を含む参加者は、医療、福祉、教育の現場を視察するとともに、国際村では関係者による熱心な意見交換も行われるなど、専門的分野についての交流を深めていました。

また、鶴岡市内のサッカー親善中学生訪問団一行二十八名が同月二十一日から六日間の日程で、鶴岡市の友好都市ニューヨーク・ラフォア市を訪れ、サッカーを通じて友情を深め、真っ黒に日焼けし、元気に帰国しました。

庄内国際協力研究会例会 中国留学 帰国報告会

十一月十三日、国際村で庄内国際協力研究会の第九回例会として中国に留学した二人の女性の帰国報告会が開催されました。この日、留学体験を発表したのは、いずれも酒田市在住の三

浦育さんと芳賀久子さん。三浦さんは浙江省杭州市に一年、芳賀さんは北京市に一ヶ月それぞれ留学していただきます。

二人は、スライド写真を使いながら留学生活の様子、経済発展が進む中国の人々の暮らしぶりなどについて報告し、約三十人の参加者は興味深げに聞き入っていました。



もっと交流めざせ 地球人 in 鶴岡

県教育委員会と県ユネスコ連絡協議会主催の国際交流のつどいが十一月十五日、十六日に国際村を会場に開催されました。

これは、地域の国際交流を進めようと毎年県内各地で開かれているもので、今回は、庄内在住の外国人五名による意見発表、韓国や中国料理の調理実習などが行われました。

約四十名の参加者は、レクリエーションゲームや交流パーティーなどを楽しみながら、みん

な同じ地球人であることを実感した二日間でした。

国際村 出前国際交流会



十一月二十八日、鶴岡市立朝陽第五小学校の五年一組で国際村勤務のフィル・ロバートソン、齋慧艶両国際交流員との交流会が催されました。

会はクラスの皆さんで考えたプログラムにそって進められ、班の出し物やゲーム等が行なわれました。また、簡単な挨拶を英語、中国語で覚え、実際に使ったりもしました。子供たちの希望だった「外国の人との交流会」は、担任の齋藤清志先生が国際村に相談し実現したものです。子供たちにとって大変貴重な経験となったようです。

COPI3京都からの報告 地球温暖化会議報告会

国際村ホールにおいて十二月二十八日、地球温暖化防止京都会議(COPI3)報告会が開かれました。これは山形大学環境研究会等が、十二月一日から十日間にわたり開催された会議の内容を広く市民に知ってもらおうと開催したものです。

報告会では、京都で見聞した関連事業や世界各国のNGO(非政府組織)関係者のコメント等を紹介し、地球温暖化、環境問題をもっと地域の中で考えようと訴えました。

今年もホームビジットで 日本のお正月

ホームビジットとは、宿泊はせずに家庭を訪問、家族との団樂を通じて日本の日常生活を理解してもらおうというもので、国際村事業でのお正月ホームビジットは今回で三回目。

十二月二十八日には山形大学農学部留学生ら希望した五名と三組の受け入れ家庭の皆さんとの顔合わせ会が国際村で開かれ、それぞれ年末からお正月にかけて日本の伝統的なお正月などを体験、受け入れ家庭との深い交流が図られました。

インフォメーション

出羽庄内国際村 アマゾン民族館

1998.1 ~

中国河北省大地震 義援金受付中

今年1月10日、厳寒の中国河北省で大地震が発生、多くの死傷者が出るとともに、家屋7万户以上が倒壊しました。

この地震の被災者を救おうと山形大学農学部に留学中の学生を中心に義援金を呼びかけています。現在、国際村に募金箱を設置するとともに郵便為替、銀行振込でも受け付けています。

振り込みの場合は、荘内銀行 鶴岡東支店・口座名「中国河北省地震救済寄付」、口座No.(普通) 169239 問い合わせ先は、出羽庄内国際村です。

地球っ子クラブで アフリカを体験しよう

庄内に生活している外国の子

供たちと一緒に、歌やゲームを通して交流し、国際感覚豊かな子供を育むことを目的に、地球っ子クラブを開催します。

日時 2月8日(日)午前10時～午後2時

開場 出羽庄内国際村

対象・定員 小学生先着20名
内容 アフリカのお話、料理づくり、歌、ゲーム等

参加料 300円

今年も開催 中国のお正月

中国では、旧暦の1月1日を「春節」といい、大々的に新春を祝います。

国際村では、今年も二月の行事として「中国のお正月」を取り上げます。前日には餃子教室も開催します。中国雑技あり、歌で覚える中国語講座ありの楽しいお正月です。

日時 2月15日(日)午前10時～午後3時

会場 出羽庄内国際村

内容 中国映画ビデオ上映 中国将棋教室、切り絵教室、出店、ゲーム、爆竹鳴らし等

タイ子供の村学園への 物資提供をよびかけ

庄内国際交流協会では9年前から高校生をタイの民間福祉財

団「子供の村学園」へ派遣していますが、今年も3月21日から1週間の日程で実施することになりました。

同協会では、学園の子供たちに贈る夏物衣料、文房具・楽器・絵本を集めています。

また、同協会の活動と庄内国際青年祭の写真が掲載されている毎年恒例のカレンダーが製作されました。昨年の各種イベント等の様子が写真で紹介されています。

いずれも問い合わせ先は、出羽庄内国際村です。

国際村で外国語を 楽しく学ぼう

出羽庄内国際村では、英語と中国語の語学講座を開催しています。

英語、中国語ともに各5コースで、対象は小学生から一般社会人まで。一日体験受講も受け付けています。開講日時、受講料等詳しくは出羽庄内国際村へ気軽におたずねください。

出羽庄内国際村の休館日

2月16日(月)、3月16日(月)
4月20日(月)

アマゾン民族館は、右記のほか、2月15日(日)～28日(土)の期間、休館となります。

97 出羽庄内国際村の1年

各地で様々な国際交流が行なわれていますが、昨年は日米草の根交流サミット山形大会も開催され、出羽庄内国際村を拠点とした交流がくりひろげられました。

今回は、昨年1年間に開催された数多くの事業の中から主なものをご紹介します。



ワールドバザール



日米草の根交流サミット

- 1月12日 鶴岡ミュージック村15周年祭「アマチュアバンドコンテスト」
- 15日 青年海外協力隊員帰国報告会
- 19日 出羽庄内国際村祭「日本のお正月」(もちつき体験、日本の遊び)
- 29日 国際交流関係団体連絡協議会
- 2月7日 通訳ガイドボランティアセミナー(～9日)
- 16日 出羽庄内国際村祭「中国のお正月」(餃子作り、切り絵、中国の遊び、ミニ中国語講座)
- 3月2日 庄内草の根国際交流シンポジウム
基調講演「地域社会と国際交流」 阿部汎克氏
「ジョン万次郎による日米草の根交流の歴史とサミットについて」 高橋 徹氏
- 15日 アマゾン民族館企画展「中南米楽器展」開幕
アンデス音楽コンサート
- 19日 (財)出羽庄内国際交流財団理事会・評議員会
- 4月12日 マークエステル夢の世界展(～16日)
- 5月3日 アマゾン民族館ゴールデンウィーク特集(～5日)
カミーノス フォルクローレライブコンサート
- 22日 (財)出羽庄内国際交流財団理事会・評議員会
- 24日 生涯学習講演会「世界の中の日本～英国人と日本人の比較から～」 マークス寿子氏
- 31日 山形大学農学部開設50周年記念国際シンポジウム
講演 「農と庄内の人々の暮らし」 ウィリアム・W・ケリー氏
講演 「緑のある風景 - 日本の場合・ドイツの場合 - 」 赤坂 信氏
座談会「国際的視野から農を語ろう」
- 6月1日 青年海外協力隊員帰国報告会

- 6月7日 第3回国際村ワールドバザール前夜祭(中国映画「正義の行方」上映)
- 8日 第3回国際村ワールドバザール
- 26日 瀬木貴将&パデランテコンサート
- 7月12日 生涯学習講座 まなびすとセミナー「97「国際社会の中で私たちができること」 ケン・ジョセフ氏
- 7月20日 アルバ演奏会
- 27日 第13回庄内国際青年祭歓迎レセプション
- 31日 出羽庄内国際村国際音楽祭「インテイクントウルフォルクローレライブ」
- 8月5日 外国人留学生への奨学金交付式
- 16日 夏休みアマゾン子どもフェスティバル
- 24日 鶴岡市平和都市宣言記念事業「平和フェスティバル」
- 9月11日 田川地区中学校高等学校英語弁論大会
- 20日 日本国際ボランティアセンター設立者 星野昌子氏講演会「共に生きる」
- 25日 秋篠宮殿下・紀子妃殿下アマゾン民族館ご視察
- 10月1日 鶴岡市制施行73周年記念式典
- 6日 通訳ガイドボランティアセミナー(9日、15日)
- 27日 出羽庄内国際村祭「ハロウィン」(ジャック・オ・ランタン作り ～31日)
- 31日 第7回日米草の根交流サミット山形大会(～11/3)
- 11月6日 アルゼンチンタンゴ ドナート・ラシアッティ En 鶴岡
- 15日 山形県国際交流・国際理解活動研修会(～16日)
- 23日 出羽庄内国際村祭「サンクスギビング」(七面鳥料理講習会、サンクスギビングパーティー)
- 12月2日 アミン・フェリス リサイタル
- 7日 出羽庄内国際村祭「サンタさんとの撮影会」
- 13日 出羽庄内国際村祭「クリスマスケーキ作り講習会」
- 14日 出羽庄内国際村祭「クリスマスリース作り講習会」
- 20日 出羽庄内国際村祭「ワールド・ファミリークリスマス」
- 28日 ホームビジット顔合わせ会

賛助会員募集

地域に国際交流の輪を広げ、民間の活力を活用し、より広範囲で有益な事業を実施するため、(財)出羽庄内国際交流財団では賛助会員を募集しています。特色ある特典もありますので、是非ご入会ください。

- 個人会員(年会費)・大人3,000円 ・高校、大学生2,000円 ・小、中学生1,000円
- 法人会員(年会費) 30,000円

ボランティアを希望される方

(財)出羽庄内国際交流財団では、国際交流ボランティア等登録事業の一環として、草の根の国際交流に不可欠なホームステイ、通訳・翻訳、生活相談、日本語指導などの各種ボランティアを組織し、方々国際交流の日常化を支える基盤とすることとし、多くの方々に働き掛けております。各種ボランティアを希望される方は、出羽庄内国際村へお問い合わせください。